

令和4年度

令和4年11月30日

# 学校だより



かもいの<sup>な</sup><sup>か</sup><sup>ま</sup> 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!  
横浜市立鴨居小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

## じんけんしゅうかん とりくみ 人権週間への取組

こう ちょう つつみ たつとし  
校 長 堤 達俊

2年生が育てている冬野菜が少しずつ伸び始めています。これからの冷え込みに負けずに大きく育つことを願っています。一方、新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、学級閉鎖とせざるを得ないクラスもありました。今後も感染対策を行いながら教育活動を進めます。

さて、11月28日～12月2日は本校の人権週間です。今注目されているSDGsは、人権尊重の考え方がベースとなっているため、人権集会では、「つづけよう 広めよう かもいのSDGs作戦」をスローガンに、本校でのSDGsの取組を紹介しました。また、各クラスで「いっしょに」「ありがとう」のエピソードを子どもたちが書いて掲出しています。個人面談等でご来校の際にご覧ください。

また、「いじめ解決のためのアンケート」も実施しました。今後、対応を進めていきます。

私は、朝会で、以下のようないじめに関する「アンテナとブレーキ」の話をしました。

『まずは、友達が安心して楽しく過ごせているか、困っている人はいないかという高いアンテナで周りを見つめてください。からかひやいじりと言われていることが相手をどんな気持ちにさせているのか、まずは、相手の気持ちに寄り添って気づくということが大切です。そのアンテナが反応し、相手を悲しませたり嫌がらせたりする場面を見つけたら、すぐに止めるブレーキをかけてください。そんなことが自然にできている場面を、実際にあるクラスで見かけましたよ。是非、これからも誰もが安心して楽しく過ごせる鴨居小をつくっていきましょう。』

子どもたちが、自らいじめの早期発見・早期解決の行動ができるよう、教職員も、日頃から教育活動や言動を振り返りながら人権感覚を磨き、子どもたちを支援してまいります。

### 【鴨居の自然 ～ノスリ～】

鴨居原農専地区付近を歩いていると、上空からカラスの激しい鳴き声が聞こえてきました。見上げると、タカ的一种「ノスリ」が、ハシブトガラスに追いかけていました。本気を出せばノスリの方が強いはずですが、カラスがタカを追いかけて回す姿はよく見かけます。皆さんも、カラスの音が聞こえたら上空を見上げてみてはいかがでしょうか。

